No. 554 SEMANARIO DE S. PAULO 5-DEZEMBRO-19 0

聖州新報
Semanario de S. Paulo
Rua Piratan, 4-15, 4-72
Caixa Postal, 58 BAURU
Director e Redactor
ROCRO KOWYAMA

ASSIGNATURA	
Anno	25$000
Semestre	16$000
Trimestre	8$500
Mez	3$000
Semana	$800

廣告料 一頁 全一年 金六〇〇〇 半頁 全後 金三〇〇〇 二分一段 全一年 金二〇〇〇 四分一段 全後 金一〇〇〇 八分一段 全一年 金六〇〇 半後 金三〇〇 一段 全一年 金二〇〇〇 半後 金一〇〇〇

社主兼編輯人 香山 六郎

社說

吾々毛唐共の苦惱は革命政府の苦惱だ

伯國革命が成就して僅かに月餘、假政府の發表せる政綱が、愈〻實行され効果顯著であるか否か、即効藥的に即斷は出來ぬが、新政府の新政綱たる是迄なかつた処の文部衛生省新設——勞働省新設——軍隊編制改革——憲法改正——等々と列擧した丈でも、キビ〻〻した処があつて、吾々御厄介になつて居る東洋の毛唐共も、黙なからず新鮮味を感じて嬉しい。

だが、現假政府の達口は、革命政府丈けに——維新だと云へば維新だが、伯國共和從來憲法の否認であり、ジエツリオ首領の獨裁政治である點から觀て王政時代への逆轉とも做される。全く維新と云へば、伯國も確かに維新だが、日本の維新とは違ふ。

日本の維新は、將軍專制政治破壞から皇憲法政治へと進展した。チョン髷髪を切つた。廢刀をやつた。

支那の維新にはペン髮禁止をやつた。トルコの維新には婦人の顏隱しの頭布を引き剝いて甦生の生活へと進んだ——が、伯國の維新には國民一般のチョン髷斷髮もなく、ペン髮禁止もなく、婦人の顏隱布の引剝きもない。

革命騷擾當時、革命派は、犬も猿も狼も、赤いレンソの頸卷、赤々々でコンムニスタを想はせるものがあつたが——最近はその赤い頸卷きレンソも、モ——伯人自身が滑稽を自覺し出してか、一日〻〻流行すれた氣味である。

若し日本の維新に似通つた処があるとすれば、廢刀令によつて帶刀罷りならぬのあれ以來、日本人は皆丸腰になつた樣に、伯國政府は、今や人民の武器、兇器携帶を極力禁止しやうと努めて居る。即ち伯人の腰からピストルの姿を消させてしまい、丸腰にしようと云ふのだが、伯人は一般に、持ちつけたピストル魂から丸腰魂へと解放されることは、日本の武士が廢刀令を喰つた時ほどにはないにしても、惜別の情は、臆病根性と共に渦卷いて居る樣である。

文部衛生省新設、眞にいゝ事だ。二十餘年前に、吾々は此國に渡つた當時、ブラジル國には國民一般の教育支配權能主機關たる文部省なるものが、僅かに內務省に屬し、司さどられて居るときいた時、黙なからず面喰らい、伯國民の教育不振を慨歎したものであつた。

其後伯國の社會組織事情に吾々が通づるに從つて、伯國社會は、人間にすれば、日本の癩助やになぞらふべき田舍方面の人間社會は文化の色彩に鼻もヒツカケられず居る狀態で、頭たる都會の立派さに均り合はず、村落は全く營養不良にされて居ると知つた。

伯國の田舍人は、皆野生——原始人のまゝだ。

國民義務教育——それは殆んど名目だけでホツタラかされて居る。

それから二十餘年、今度革命政府政綱の最初の一として文部衛生省が新設された。

然し國家の財政が許さぬで、そう急激に、教育教育々々々々なる事に國民一般氣風の隆祥は期待されまいが、福助の手足胴が、頭と均合ふ樣に努力し出した新政府は、偉い。

茲に伯國の眞の維新があるのだと感ずる。

日本でも維新より今日の日本に到る迄、蒙昧な人間が澤山居た。今でも日本には蒙昧屋が居るには居るが、ブラジルほどは何うか知らぬ。

現在伯人の豪盲に入つて居る賭博根性、ウソ吐き根性ワイロル根性、懶け根性、泥棒根性を矯正する事は、如何なる法も慈悲も効果ない、不能の事である。

立派な文化人間を育て上げる事には、紳なる心の小兒時代より教育して、二代三代の時間を要する仕事だ。

伯人甦生の道、それは伯人が經濟的に一層惠まるゝ事も必要であるが、伯國の豊かなる天惠の基に、國土は國民數に比してまだ曠莫である処の今日にあつては他國人の努力に比しては僅かな努力で立派に經濟的に惠まるゝ、要素があるので最易い事である。

然し伯人甦生の道として、一番六ケ敷い事は、伯國民の德育涵養でなからうか、智育涵養もさる事ながら、國民教養、それは全く一夜漬けで出來ない事だ田舍の伯人、ともすれば原始人そのものゝ如く退嬰せる人々が多い。

斯うした人々と朝夕伍す。吾々東洋の毛唐共は、茲に底知れぬ苦惱がある。

伯國革命政府の苦惱も亦眞劍なものが茲にあると察する。

農村の窮狀を聽く【二】

（昭和五年八月二十日午後雜誌「批判」より轉載）

杉山元次郎（近畿）　川瀨　新藏（新潟）
須永　好（群馬）　長谷川萬次郎
莊原　達　森戸　辰男
來間　恭　河西太一郎
福岡　誠一

座談會

杉山「肥料も安いと云つて金解禁前に買つておいたために作物の値段が下つた今日大いに困まつてゐるものもあります。

し、又前に買つてゐなくて今買ふとしても、他の物價やう出は變らないで、這入るものは減ると云ふ譯で、從來から困つてゐましたが、最近の困まり方は特別です、これでは秋から先は、どうなるかと到る処で、嘆聲を聞かされてゐる次第です。一寸と話の緒口に申上げたのですが、又御質問に後でお答へ致します。

莊原「それでは次に川瀨さん、一つ新潟地方のようすを話していたゞきます。

川瀨「新潟地方の、農村もやはり困つてゐます。特に私の所は例の木崎村ですが、近頃の不景氣は、私共の地方が主として園藝蔬菜を以つて立つてゐるだけに著しい打擊で、殊に野菜などは一体相場があるのかないのか判ない位の非常な暴落です。昨年の如きは大正十五年に次ぐ不作でした。

中產以下の小作人はどうして食べて行くかと思はれる程ですが、都會からの歸農者はます〻〻多くして、農村は一層深刻な不景氣に襲はれてゐます。それにも拘らず村稅、縣稅等の負擔はさらに減つてゐない。例へば私共の木崎村について云へば、村稅は昭和三年四五、六〇六圓。昭和四年四八、九七三圓。五年度は未だ決定してないが、恐らく四萬七千圓程の見當です。それから國稅は三年度二一、三〇九圓九八錢。四年度二〇、五八八圓七五錢。また縣稅は三年度三九、七九八圓七五錢。四年度四〇、一九八圓六七錢と云ふ狀態です。其の他農會費、水害組合の經費等も同樣で、一般に負擔は增加してゐる、しかも例年の不作に加へて農產物が暴落したため農民は極度に窮乏し、木崎村の如きは昭和三年に一一三九戶あつたのが昭和四年には二二戶だけ減つて一〇一七戶になつた。人口は八百九十人程增加してゐますが。これは歸農者が增加したのに、農村から出て行く者がない爲であります。產業組合其他の金融機關は、極度に貸出しをひきしめてゐるが殊に木崎村は小作爭議が多いので警戒されてゐる。さう云ふ処へ今年度あたりは農作物は不作であり、而も相場下落であり——相場は胡瓜十貫目十二錢、茄子十貫目四十錢西瓜十貫目六十錢から一圓と云ふ有樣です。新潟地方の農村ではなほ掛賣制度が一般に殘つてるので、どうにか凌ぎつけてゐますが、十二月になると、肥料、農具、果物の被袋、藥品等の支拂をしなければならぬ。その時の悲慘な狀況が今から思ひやられます

莊原「今度は須永さんにどうか願ひます。群馬は養蠶地だから又特殊な事情がおありでしよう。

須永「私の所は、群馬縣の强戶ですが、私の附近は縣中でも水田の多い方で、純養蠶地とはいひ難いのですが、やはり主たる生業は養蠶であります で、私の所の事をお話して大體縣下の樣子に類推して頂きませう。先づ農村不況の現狀をお話しするために、繭の相場を申し上げますと、昨年は大體六十掛ケから七十掛ケでありましたが、今年はずつと下落して、早出來で三十五掛ケ、遲出來で二十七八掛ケと云ふ相場であり、昨年に比して四割强の暴落であります。

この相場で計算すると、本年度春蠶繭の生產は結局一貫目に付二圓六十錢の缺損となり一戶に五十貫目生產すると假定して見ると百三十五圓程と云ふことになり、本縣中でも群馬郡、佐波郡、勢多郡などは殊に打擊を蒙つた地方であります春蠶繭でも既に錢損であつたが、本年の秋蠶繭の相場は更に惡しく、現在十六掛ケで賣買されてゐる模樣であります。昨年の秋蠶は一貫目六圓であつたのですが、本年は一圓五十錢で昨年に比し四分の一にしか當らないので、この相場では農民がまゆの生產に關してなした金錢支出の形に於ける出費だけすらも回收不能の狀態であります。夏蠶まゆの生產費の中金錢支出の形に於ける出費を見ると、枠製三枚に就き種子代三圓五十錢也、蠶產紙七十二錢その他で結局それは十二圓八十六錢と云ふことになる然るに枠製三枚の蠶よりまゆが約七貫目とれるので本年の秋蠶まゆの相場で一貫目一圓五十錢の割合では十圓五十錢しかならずその上屑まゆをすつかり賣り拂ふとしても尙金錢出費を回收するには七十二錢程の缺損と云ふ勘定になつてゐるのです。金錢支出の形に於ける出費すら回收不能の狀態であるので、勞力の形に於ける出費は何等酬いられるところがないのは云ふまでもありませぬ、斯の如き養蠶業の不況が農村の經濟生活に深甚なる影響を及ぼして居ると云ふことは疑ふことを得ない処であつて第一に農民の信用も全く無くなり金融の道は杜絕して居る狀態であります。次に養蠶業そのものゝ不況が農村副業としての貧機にも影響し大正十五年頃には此の副業の年收三万圓內外であつたものが此の年は千二百圓位に減じてゐる。更に農民貧窮の證據として擧ぐべきは、農民所得の申告額が——これは年々五月末日の調べであるが、從來毎年二十二三万圓あつたのが此の年は十四万圓に減じて居ると云ふ事であります、これは申告額でありこの後の不況の深刻化に徵して見れば、本年は實際の所得額は十萬圓以下に減ずるであらうと豫想されて居るのです、村の所得額は昨年に比して半減して居るのに村の負擔は依然として八万圓內外にのぼるのであつて今年は教育費の國庫負擔額が增加したので私共の村でも千圓位は助かつたのですが、それ位は全く燒石に水の有樣です。養蠶業以外の生產である蔬菜の栽培に就いて見ても今年は西瓜一貫目五錢見當、茄子一貫六錢見當であり、蔬菜の賣上の齎す利益など考へられないのです。かくの如き農村一般の不況に對して果して組織的の運動對策が行はれて居るかと云ふに、村の外に對しては殆んど見るべきものなく、僅かに村の內に於て小學教員、役場吏員の俸給値下げの聲が呼ばれて居る位のことであります……」

（未完）

伊豆地方震災情報

外務省公報

（在バウル領事館着電普通情報）

伊豆地方震災被害程度ハ二十八日朝汽ニ殆ド判明シタルガ、死者二五八、行衛不明九、負傷者三五一、家屋全潰二三三四、半潰五六九六。火災ヲ起シタルハ伊東町外四ケ村落ナリ

罹災者救護ハ地方官憲、自治團体、軍隊、青年團、赤十字社其他ノ活動ニ依リ良好ニ進行中、又交通通信機關モ大体復舊シタリ

尙大藏當局ハ被害ガ局部的ニシテ都會ヲ含マザリシ爲一般財界ヘノ惡影響ハ全然考ヘラレズト觀測シ居リ。現ニ株式金融爲替現物各市場ハ殆ド影響ヲ受ケ居ラズ

都だより（言論界）

丘の人

アゾノイチ紙の再現とアルツール・ベルナルデス氏の活躍

△十月廿四日の事變で燒かれたり、破碎の難を蒙つた新聞は、政府派の新聞紙の全部であつたが、一週間目には早くもジョルナル・ド・ブラジル現はれ二週間目にはア・ノイチ紙が現はれた後者の新主筆はアルツール・ベルナルデス氏の乾分前代議士アウグスト・リマ氏であるが、七日の全紙にはベルナルデス氏のエントレ、ヴイスタ(entre vista)を發表して都下の新聞界に可成りの沸騰を見せた。

△前大統領アルツール・ベルナルデス氏の宣言によると、今度の革命の最首謀者は仝氏であり仝氏一人の頭腦から割り出されたもの如き口約で「予は在職中既に政界廓淸を期し憲法の改正を試みて退職後滯歐中に責任と權威のある政客をあつめて、一種の秘密結社を作り、その意を果さんとした事もあり」云々と說き「今度の革命の成就は民衆の力によるものでない」と國民の歡心を求めて居るあたりは、仝氏一流の老成振を發揮して居る。

△ベルナルデス氏の宣言については色々取沙汰されて居るが、これを以つて仝氏が再度カテチ入り目論むとするものもあり、或は單に乾分の出馬を容易にするためともあるが、兎も角もこれによつて仝氏が失つて居た國民的信用と、仝氏退職後可成りヒビの這入つた居たミナス州の中央政界に於ける地盤を確保し得た事は明かなる事實であらう。

△尤も仝氏再度のカテチ入りに就いては仲々困難なる事情あり仝氏の宣言中「予は在職中理想も目的もない、軍隊の叛亂に苦しみ」云々とあるのは、云ふまでもなく、サンパウロ革命をさすものであり、ジュアレス・ダホラ。コースタ・ジョン・アルベルト等理想派の革命家連に如何に反響したかは、必ずしも想像にかたくない。

△久しくジユリオ派の新聞とし一般から疑はれて居たコレイオダ・マニャー紙と、グローボ紙はベルナルデス氏の宣言に對し猛烈なる反對の議論を吐き、ミナス派の新聞之に應戰し革命成就後はじめての、新聞界の活氣を見せたが、その後間もなくその論戰は止んだ。

△因にコレイオ・ダ・マニャ紙が聖州前政府より三千二百コントスの金を貰つて居ると云ふ話がサンパウロ政府のジョン・アルベルト大佐の口から出たものとして一新聞紙に記載されたが、「コレイオ」の仝大佐への電報照會となり、次いで仝大佐の否認電報となつてこの話はそのまゝ立消ゑとなつた。

（十一月十八日）

×

百年後の農業

百年後には、少くとも文明地では、若し全廢されないとしては、農業は衰微するだらうと思はれる。農業滅亡に近づく第一歩は植物の生育に大切な空中窒素を固定し得る有用なバクテリヤの出現であらう。かやうな杆狀細菌は普通のやうにしては決して發育しない。その祖先となる多くの杆狀細菌が、實驗室の中の全く技術的な狀態におかない限りは生きてゐることが出來ないからである。併し遂に窒素を固定させるところの生々としたバクテリアが丈夫にされ、農田に增殖させられるやうになつた時にはそれ等は直ちに特効ある肥料の役を演ずることになら う。このバクテリアの助によつて現在一穗きり出來ない所に五穗も十穗も出來、十頭きり飼育出來ない牧場に五十頭も飼ふ事が出來やう。

このやうな發達は、云ふまでもなく、あらゆる政府から歷念の目をもつて見守られることだらう。食品價は下落し、幾百万とも知れぬ勞働者は生計を失ふことだらう。

此の發達に直ぐひき續き、合成食料品が完成されやう。現在私共は不思議に思はれる程徒費の多く廻り遠い方法で食物を取つてゐるのである。太陽のエネルギーは植物によつて吸收され植物の構造中に主として纖維素の形で畜へられてゐる、人體はその纖維素を消化することが出來ず、したがつてそれから滋養分を取り出すことは出來ないが多くの動物はよくその手助けをしてくれるところのバクテリアの力を借りてこの纖維素を消化することが出來るのである。それで私共人間は、羊とか牛とか豚とか云ふやうに纖維素を消化して、それを人間が食べるところの肉やミルクに變化させる動物を飼ふのである。

既に不消化纖維素を消化し得る糖分に變へることは出來る樣になつて居るのではあるが、それには大變費用がかゝるので未だ實驗室內に於ける實驗以外には實行することが出來ない。此のやうな製造裝置はもつと研究され、發達して百年後には大切な食料品である澱粉や糖分が今日の塩位に安くなるであらう。

其他の重要な食料品である類似蛋白質については二つの可能性が在る。どちらともやはり合成的に生じられるのである。さもなくば、例へばビフテキとか雞の胸肉と云ふやうな動物食料が實驗室の中で適當なミデアムの中に生ずるであらう。最早ビフテキを食べるために長い間牛を飼ふ必用はなく、源となる上等の柔らかさのビフテキがあれば、それから好きな大きさで好きなやうに汁氣の多いビフテキが出來るでせう。その根源となるものは正確な科學的滋養分を供給する限りは無限に又は恐らく永久に絕ゑず生じ、充分に大きい時はいつでも數百ポンド位それから割いて市場へ送ることが出來やう。

合成食料品や動物組織の產出は、遂に地球の資源が絕ゑて人類の餓死する日が來るだらうなどと予想するやうな臆病者の心を安じ、例へ地球の表面の住み得る處が全部人で一ぱいになつたとしても、尙無數の人類をかう云ふ方法で十分に養ひ得るやうになるらう。

食料生產に於けるこの第二の革命は遂に農業を衰微させてしまつて。農業は唯金持の道樂となつて自作の陸稻と野菜と豚肉くらいなものでーと儲けしようといふ移民なんどは全く幻滅さ云々

政府もあまり思いやりがない

過般ゼネヴア國際勞働會議の歸へりに在伯邦人移民狀態を視察して歸朝した勞働代表鈴木文治氏は、横濱にて出迎の人々に語る

ブラジルの日本人移民狀態を見たが、あんな狀態では政府もあんまり思ひやりがないといふものだ。首都を除いたら一帶が殆んど日本の卅年前の生活狀態と同じで、食糧といたつて自作の陸稻と野菜と豚肉くらいなもので一と儲けしようといふ移民なんどは全く

日本近信

「勞農黨かい體せよ」
河上肇、上村進、神道寛次三氏
突如機關紙で叫ぶ

過般勞農黨は解消問題に關して書記長細迫兼光氏を除名して以來同黨の性質、任務ならびにその存在意義について極力自己批判をやりつゝあつたが、一方黨内で勞農黨組織編成試案として河上肇氏より本部書記局に提出されたこれが檢討のためまでに委員會を十數回にわたつて開き討論を行ひ十一月一、二日兩日に行はれる擴大中央委員會でその存在意義および解消問題に對する態度を決定することになつてゐたが、突如廿日河上肇氏をはじめ上村進、神道寛次三氏の連名をもつて同黨機關紙勞働農民新聞一二二號紙上で「勞農黨の發展的解消のために殘された唯一の道として戰鬪的解體なる一文を草し、黨の執行部と全然反對意見をもつものとして勞農黨は即時解體すべしと述べ

われ〳〵は常任中央執行委員會が可決したと稱せられてゐる諸議案を正式に決議せられたものと見なさずといひ、最後にわれ〳〵勞農黨の戰鬪的解體を大衆的討議に上すためのの一材料としてわれ〳〵は來るべき大會(十二月擧行)を解體のための大會となすことを提議する

と聲明しはつきりと執行部に對する態度を決し、もしこの意見が容れられなければ脱黨もやむを得ずといふ態度に出たことに對して本部書記局は廿日後午同機關紙を見てはじめてこれを知り大山委員長以下常任委員が大部分關西遊説中出し抜け的に黨の規律をみだし、黨の機關紙をかつてかくの如き裏切り的行爲に出たことを極度に憤慨し、早速大山委員長に歸京の電報を打ちこれが對策を練ることとなつた

田部井書記長代理談

われ〳〵は河上氏などの今回の擧は全く同志を裏切り大衆を愚にした怪しからぬ行爲だと思ふ。黨内に於ける異なつた意見は討論をやつて批判し多數決によつて大衆の意思をの表さるべきで中央委員會なり大會などで堂々と闘ふべきである、それをだまたま機關紙編輯の任にあるを奇貨とししかも本部書記局に祕密にこれを編輯し發送するなど全くそのやり方は無産闘士として恥つべきだと思ふ、前に細迫しの單獨脱黨の時河上氏はこれに反對しみす〳〵これを見殺しにし一ケ月たつかたゝぬ内に解體論を持出すなどはその定見奈邊にあるかを疑ひたくなるいづれ大山委員長の歸京を待つて對策を決定する筈である

五十万年前から「人間」はあつた
十万年の學説ケシ飛ぶ
北平近郊で發見の頭ガイ骨で判明

人類の起原が十万年であると云ふ學説を覆へすに至つた人類最古の頭蓋骨研究のため久しく北平へ出張中であつた立教大學總長チャーレス・エス・ライフスナイダー氏は夫人同伴門司入港の郵船北嶺丸で歸來東上したが同總長は語る

人類最古の頭蓋骨が發見されたのは北平から南西約四十マイルを隔てた平漢線の支線となつた周口店から半マイルの丘陵地で支那の博物學者ペイ氏指導の下に昨年から

◇……洞窟の發掘に着手したもので、同地附近は昔は石炭の産地で淋しい村であつたが現在では北平近郊の有數の町となつてゐる。ペイ氏は同地に四十メートル離れた、二つの洞窟を發見したが、その下方の黑色と灰色砂地を發掘したところ、離れ〳〵になつた鼻の上の頭蓋骨と鼻から下の顎骨を發見し、目下北平ロックフェラー病院研究室に存置されてゐる、世界各國の學者が頗る珍重な大發見として研究した結果今から六十萬年前のものであることが判明した、一般人間の頭蓋骨の厚さは二分程度であるがこれは約五分といふすばらしい厚みを持ち

◇……類人猿の頭蓋骨といふより、猿から人間に進化した八分以上人間に近づいた人間の頭蓋骨であることが判明されたがこれによつて猿から進化した完全な人類の紀元はこれから十万年後、即ち今から五十萬年前であつて從來世界の學界で人類紀元が十萬年前であるといふ定説が完全に覆へされたわけである。發見された頭蓋骨は人類の元祖といつても差支つかない、かくの如き最古の頭蓋骨が完全に發掘されたことは學界唯一の研究資料で各國では遠早くこれを買收せんとしてゐるが支那側では容易に手離さず永久に北平のジオロジカルサーヴェイに存置されることになつてゐる

外國電報

勞資爭議に軍隊の出動

東京廿日下の一紡績工場に勞資爭議起り遂に軍隊一部の出動を見、十九人の負傷者を出せり

南船北馬

●失業優等生

亞國ブエノス市職業紹介所は群る失業者を整理するに失業先輩順を定め仕事を與へる事にした處、失業先輩の親玉は一九二八年の十月から雨の降る日も風吹く日も缺さず紹介所に通つた男があつた、所長曰く「君は失業優等生だ今後も此の勢で精勤し給へ」

●默つて働け默つて納めろ！

群馬縣の減る町で町の有力者が集まり不ケイ氣對策の相談會を開く事になつた、ところ協議事項の一つに「租税延ノウの件」といふのがあるのを見つけた警察部長「長君さうそく相談會の發起人を呼びつけて「この一項を削除し給へ」

「それはまたどうしたわけなんで？」

「豚鶏から命令が來とるんさや、人民に税金のことを被これと相談させちやいかん」

その不ノウ「分ノウ、延ノウとか滞ノウとか、そんなことは言はせるのもいかん、書かせるのもいかんと言ふて來とるんじやから」

「エヽ、ヽ、それでは延ノウしてはいかんと言つてもいかんのですか」

「とにかくいかんのじや」

反響

▲祖國は地震で又一騒ぎ、先達は首相狙撃事件で騒ぎ其又先達は露社番人首取騒ぎで騒ぎ大觀艦式で騒ぎ、騒ぎ〳〵〳〵だ

▲伯國勞働省と聖州珈琲園勞働者とお互に癌でなくば

▲伯國文部衛生省と内地不就學兒童とトラホームと鬼ゴッコしてもせんよりいゝ

▲矢崎書伯エスプラナードホテルに氣を吐く、でなく綸を吐く

▲リンス市日本人會ゴタ〳〵をやる是れは不景氣の性である

▲イグワツペ邦人殖民地の幹部イツトからエロへ、是れはキンタマの性である。

▲フーバ大統領教書を議會へ示す、數量に於て日本のそれとケダが違ふと云つて勝負は別だ、

▲師走の月に入つた、日本の寒さを想ふ、母國のもちを想ひ、祖國の門松を想ふ

▲人間到處青山在つても門松を想はぬ樣になつては人間もお終まいだなんて植民第一世の遺言みたいだ。

▲聖州政府諸郷の總辞職は中央政府獨裁政治色彩濃厚の反映である、今更驚く迄もない常道である。

▲吾等同胞九千万、一億には一千万不足だ、日本の女性よ、痛からうが、外人に負けぬ樣に產んでもらはねば……とさ。

▲マンガの盛りが來た、老いも若きも嘴が黄なくなる、

邦人の第二世が女子師範を卒へる

バウル市にある私立ジオアン、ベソア女子師範を優秀の成績で卒えた邦人殖民第二世がある、本社長香山氏の長女露子さんだ、年齢廿六才である、斯くて日系伯人の女先生が出來た譯である

吾等同胞は

（東京發）十月二十日祖國々勢調査の結果現在の吾等同胞數は九千万人を突破すると知れた、今より四年前即一九二五年の國勢てう査に於ては八千三百四十五万八千人といふ數字が出てゐた今度の國せいちようさの費用は四百万圓で二十五万人の活動を用したと

此の國勢調査中には天皇陛下、皇后陛下及皇太后陛下の御三方は數の中に入れ奉らぬ事になつて居る由

取消廣告

先般新派男女優募集の處 移住地事務所より櫻梅團の解散を命ぜられ候に就而者 右募集廣告は 今回限り中止可致此段廣告候也

昭和五年十一月二十八日

バストス移住地内

櫻梅團

近末正登

ソルベッテリーヤ
種々菓子あり
山浦商店
店主 山浦金次郎
……ノロエステ線ブロミッソン驛……
……ベルナンブーコ街……
〔平良旅館表〕
Rua 15 de Novembro
Caixa Postal 91
— Promissão —

金高二千ミルレース以上の御買上には福引券一枚進呈

一等賞品一本極上蓄音器一臺四百五十ミルレース以下十五等まで

福引景品付年末大賣出し

當月十五日より 同三十一まで

福引目			
一等	一本	極上蓄音器	一台 四〇〇ミル
二等	一本	六連發拳銃シミット一	三一〇ミル
三等	一本	蟻鍍器パダイフルド三號 一チョウ	三一〇ミル
四等	二本	婦人用絹張傘	一本宛 六〇ミル
五等	三本	男用帽子	一個宛 四〇ミル
六等	三本	オペラバック	仝 四〇ミル
七等	三本	ワイシャツ	一枚宛 二七ミル
八等	四本	防塵用ビヤケツ	仝 二五ミル
九等	十本	カミザデメイア	仝 四ミル五〇〇
十等	十本	靴下	一足 三ミル五〇〇
十一等	十本	タオル	一枚 二ミル五〇〇
十二等	二十本	レンソ	仝 一ミル二〇〇
十三等	五十本	雑記帳	一册 一ミル
十四等	五十本	タバコ	一個 八〇〇レース
十五等	百本	鉛筆	一本 四〇〇レース

お正月用母國産品全部荷揃へ
賣出期間中は特價大勉强
廉賣 品質 在品豊富 の點に於て必ず
皆樣に滿足をあたへます
ノロエステ線カフエランヂヤ
竹内商店
郵函……一二四番 電話……拾番

北最新式療治
歯科醫 山中信一
北西線リンス驛ラオ・ブランコ街二五

Dentista
Matsuoka
Promissão
松岡歯科醫院
北西線ブロミッソンセルジッペ街

口人の本日

-90Milhões-

ヤ醤油
米製 燒酎 母國産の薫があります
何レモ安原料ニテ安價提供
グワランタン
譲造元 緒方亀彦

商工展覽會
Marcenaria JAPONEZA
MASSAGI KOGA BAURU'
金メタル受領
バウル市ワシントンルイス街六ノ三（シネマ前）
古賀政治
▲電話 三四〇
家具造賣販

バウル市サンタカーザ病院寄附金募集

景氣のいゝ折は、サンタカーザ病院の施療所に呻吟厄介になんて誰も考へつかぬ事ですが昨今の樣子ではバウル市に出て來る病人は大抵「サンタカーザ病院の施療室へ入れて下さい」といふ歎願振りです、現に日本人病人が此の施療室に十人から危介になつて居ります。

當サンタカーザ病院でも經營資金の不足で現在大困りです、此の際不景氣だからと云つて何時も貧病苦の邦人が厄介になる処に健康なお互が拱手傍觀も恥かしい次第です因つてだし得る者から幾分でもだし寄つてサンタカーザに物質的援助を致す事になり、茲に寄附金を募ります、此の擧に御同情ある大かた日本人諸君の御寄進を願出ます、

現金でなくとも一束の大根、一リットルの豆でも御芳志は嬉んで先方へお届け致します、締切は本月二十三日迄當會計は芳賀仁吉氏であります。

尚ほデュアルチーナ驛方面の御方は安元青太氏の奉仕的努力に御報い被下樣バウル日本人一同より願い措きます

一九三〇年十二月五日

バウル日本人一同

御料理 つるのや
聯市コンセレイロ フルタード街三

難病者の福音
神經痛 腦病 病院 御氣レウマチス 貧血 婦人科 産科 内科
ノイレキ 脚臼 中風 子宮 肺病 マレ 齒痛
アイーベ 腰痛 肩痛 神經衰弱 婦人 授乳ツタ
針灸療法 温灸療法 マッサージ術
川原療院
リンス市九月七日街（下矢鱗工所隣）入院を謹します

Dr. k. DAIAN
MEDICO-OPERADOR
PARTEIRO
ARAÇATUBA
内科 外科 産科 婦人科
電氣治療
ドクトル 大庵喜八
北西線アラサツーバ 大原兄弟商會裏隣

ジエツリーナ町で一番安い店は
山下藤太郎商店

すし そば うどん 御料理
あをやぎ
コンデ坂上三十三
電話二……一九四八

眼科專門醫
加藤憲
リンス市ルイスガマ街五八

Hotel Japão
Mario. H. Arita
Rua Antonio Prado. 52
Phone 81
Est. Araraquara
館主 相田寛雄
アラヽクアラ驛前
郵函 二五
電話 八一
日本旅館
◎品質本位 ◎薄利多賣主義
◉美味しくて割のきくお醤油は
黒島印醤油
クロシマ醤油釀造元 黒島伊平治
北西線ブロミッソン驛セルチッペ街

HOTEL 日本郵船會社 特約乘船切符取次所
御歸國御乘船の方は出帆二日前にお出で下さい
Baurú 澤尾
バウルー驛前

御旅館朝日亭
……女給さん入用……
ベンチ驛カフエランヂヤ町（日本藥店隣）
相洋御料理並に果物商
中田菊治

Hotel e Bar Cafezal-Alto
ホテル並バール 東洋
バウリスタ線マリヽア驛チンタイス街 郵函 一七
館主 梅田金五郎

Hotel FUJI Araçatuba
ホテル兼運搬業
御旅館 不二
アラサツーバ市驛筋 郵函 二〇八番

Hotel Mundo
親切清潔簡易
藏力茂子
ソロカバナ線ツンレヤリ驛移住組合倉庫隣り
移住地行ニ至極便利

Hotel Estação
Y Murakami
Marília C. P.
人氣の中心 アルトカフエザール
驛前にして清潔な
ホテルエスタソーン
館主 村上義雄
バウリスタ延長線マリヽヤ驛

大阪商船會社指定切符取次所
聖市旅館同業組合
東京館 マウア街 仲村巢三郎 二九一
大和 コンセレイロ フルタード街二 坊迫健造
上地 ボニタ街一一 上地彌藏 郵函 一二二五 電話 二一一九二一
ときわ コンデ デルゼダス街四一 石原桂造 電話 二一一六九〇
旭 コンデ デビニヤール街二一 秋田桑三郎 電話 二一一七八二
末廣 コンデ デビニヤール街一番C二階 中山忠太郎 電話 二一五六三八
小川 コンセレイロ フルタード街一六 小川源右衛門 電話 二一四四七

リンス日本人會

臨時總會

澁谷氏遂に會長を投出し 總會は新委員を選出した

突如としてリンス市在住邦人の一角に發生した低氣壓は、リンス日本人會を中心に忽ち一大颶風を巻き起し、創立以來既に三年引續き會長を重任し權勢の根を張り固めて居た澁谷定次郎氏は遂に脆くも吹き倒され、之に隨伴して種々の新現象を示すに至つた

之れより先、日本人會及學園父兄會の兩會長たる澁谷氏の態度が餘りに專横に邊し、殊に學園問題に對しては殆んどリンス市在住邦人の存在を無視するに等しき振る舞ありとの批難の聲は可なり以前から起りつゝあつたが、今度偶々學園の經營上缺損塡補策として一口一ミルレースとし毎月拂込にて四百口の會員を以てする後援會なるものをリンス市在住邦人に依て組織せんとする方針にて勸誘された事が一つの

▲導火線となり　平素滿々たる不平を抱ける人々が奮然として立ち即ち二十六日夜福島バールに於て協議會が開かれたのである、出席者は下矢、菅山、佐藤、原、矢部、木村、相馬、中川、井本、本田、土谷、田中、佐藤二、村崎、福島、太田、農田等の諸氏で黒石時報、進藤日伯、玉木聖州の記者も立會つた、そして協議の結果、會の改革を行ふには會則の改訂を必要とする、又學園問題は澁谷日本人會長が父兄會長を兼掌して居るから臨時總會を開き一般會員と共に其の可否を決するを正當なりとの說に一致し取敢へず其の席に居合せる貳拾餘名の連署を以つて臨時總會召集請求書を作成して澁谷會長に提出して廿八日午后七時汎リンス青年會館に於て臨時總會は開かれたのである

出席會員及傍聽者併せて六七十名、先づ澁谷會長の指名にて谷垣勝藏氏議長に就任議長席に着いて開會を宣すると同時に、澁谷會長は劈頭第一に立ちて日本人會長として其の任にあらざりしを頗る讓壤的言語をつくして謝し、

▲會長を辞任すると申出た。次いで玉木會員は發言を許され「近來各邦人植民地に於て種々の紛議葛藤の事件頻發し其結果親睦和平の善良なる風習を撹乱し或は學校問題に事を構へて純眞なる兒童の精神に暗影を投じ或は團体の改革を叫んで反つて惡化に導く如き、恰も角を矯めんとして牛を殺すの愚を爲す類が多い、冀くば各自虚心淡懷正々堂々と意見を交へ以て今夕の總會をして意義あらしめ其任務を果さんことを期待する」と警告し、而して一轉して會則改訂の理由と改訂すべき箇條につき詳細に說明した。

其要點は現行會則は一九二七年九月編成されたもので今日の實狀に適用して不備缺陷の點多くて之が爲め會の進展をソ碍し偶々役員が時勢の要求に適應して施設を行はんとするも之を會則に照して論究する時は非難さるゝを免れない、又從來の役員制度は動もすれば

▲會長の專制に傾き易く弊害爰に胚胎するが故に現行會則第二章、事業に關する條項を現在の社會事情に適合することに改訂し、第三章會員に關する條項の中、會員の種類、入會者に對する條件を撤廢しリンス市に在住せる日本人を以て會員とすと改訂し第四章役員に關する條項を委員制度に改め十五名の委員と其内三名の常委員とを總會に於て選擧し會務の執行は委員之を分擔し常委員は本會を代表し會務を總理すると改訂した、と提出案に說明を加へた之に對し山中會員は會員新加入條項につき質問を試み提案者の答弁あり、結局多數決に依つて第二章事業、第三章委員に關する各條項を即時有効と認め、他の條項は議長の指名にて福島、黒石、村崎、淺野、玉木の五氏を起草委員とし之に附托して來一月一日定期總會に提出することに決定した。而して會長以下各役員總辞任につき總會は直ちに新會則に基き委員十五名（内常委員三名を含む）の選擧に移り連記投票を行ひ投票の終結を待ちて青木（權）村崎、本田三氏開票委員に指名され一方議事を進行する事にした、即ち第二の提案であつて今夜の重要問題とされた

▲リンス學園問題に對し福島會員は立ちて提案の理由を說明し、そうして質問の矢は澁谷定次郎氏に向つて切つて放たれた（記者曰、リンス學園問題に關しては次號に之を詳細記載す）之れに對し澁谷氏應酬し山中信一氏又澁谷側に立ちて熱辯を揮へば、農田源行氏攻勢に轉へ鋭き質問の巨彈を浴びせ論戰白熱化し滿場凄然として危險の空氣を漲らすに至つた、此時玉木會員より質問は之れ位に切上げ學園問題に就いては議長の指名する數名の委員に附托し充分なる研究を遂げ而して學園を完全に助成する方法を講じては如何との意見あり、福島氏も之を諒とし前提案を撤回して玉木案に贊成し議長は委員に父兄會役員にして同時に日本人會員たる澁谷、淺野、青木權次郎の三氏提案者側より福島、村崎、本田三氏、中立者として玉木一名都合七名を擧げられたが、澁谷、淺野、青木三氏は澁谷氏が更に他に選定して擧げたしとの希望ありたれば之に同意し、最後に委員選擧に就き投票の結果當選者は左の如しと議長より報告された、村崎豊重（三〇票）高橋忠一（三〇）太田久次郎（二八）宮平市助（二八）玉木從義（二八）賀數輝俊（二七）城間嘉助（二七）原實藏（二五）庄山才吉（二三）本田安記（二二）中村仁太郎（二二）菅山輝吉（二二）淺野利實（二二）福島拾吉（二一）增山房吉（二一）以上十五名の委員と此内常任委員として、玉木從義（一一）太田久次郎（一一）城間嘉助（九）三名が當選した（福島氏も九票なりしが抽籤の結果、城間氏に決す）以上當選者の内前役員である淺野、太田、中村、庄山諸氏が

▲就にん辞退を申出たのを切つかけに會場は又々混乱化し流石の谷垣議長をして大に手古摺らせたが、兎角辞任の申出は一應保留とし漸く議事を終了し散會するに至つたのは時正に午前二時の深更であつた

聖州政府内閣員總辞職

中央假政府は聖州政治の中央目附役に軍人出身のジオン、アルベルト大佐を任命した、此軍人目附役と聖州現政府當局との折合が圓滑に進行せぬものと見る向先來秘策裡に新運動開始中であつたが、聖州政治を根本的に改革するには現デモクラット派の改革をも要する事に中央政府の意嚮もあるので、一昨三日革命直後組織した聖州現内閣は遂に總辞職するに到つた

軍人目附役アルベルト大佐の下に尙ほ新内閣組織さるゝ顔振は

司法長官　ドットル。ラウド、デ、カマルゴ
内務長官　ドットル。アルツール、ネイバ
農務長官　ドットル。ナバロ、デ、アンドラデ
遞信長官　ドットル。オスカル、マシャード
聖州市長　ドットル。アニバイヤ、メーロ
聖市警視總監　ドットル。ペンナトン、ブラド
大藏長官には　スマ、デ、オリベーイラ氏がソーザ、ダレタス氏かアルマンド、チーレス、デ、オリベーイラ氏かチアデウ、ノゲラ氏かと噂されつゝある

ミゲルコスタ將軍は州警備長官に任命された

聖州當局總辞職に對し中央政府の聖州出身大藏大臣たるジュゼ、マリヤ、ウキタケル氏及パラナ出身の農務大臣アシス、ブラジル氏等の動搖問題をも噂され居るも今の処何等影響なしと或方面よりは打消されて居る

珈琲調節局はついに聖州農業家に一にん?

珈琲調節局は政府の手を離れ其經營を聖州農業家の掌中に納めさす事に中央假政府の議は決定せるもの、如く既に其局長等も左の如くに命したと

アントニオ、アルベス、リマ氏。アントニオ、デ、ケイロス、チーレス氏、チアデウ、ノゲラ氏及イ、ルイズ、スプリレー氏

ノロエステ鐵道と新鐵道局長の希望

ノロエステ新鐵道局長ワルドミロ。ベレエラ。ダ。クニヤ（陸軍工兵大尉）が先來ノロエステ線視察の結果その報告によつて中央遞信大臣が許可するならば最近の同鐵道大改良策として鐵道沿線に小石を敷く事、アラサツーバ……ジュピア間變更線を急遽貫通さする事と、同新局長は此内常任委員として、玉ノロエステ鐵道の現在及將來に非常の憾れ方である由

勞働省新設

初大臣にリンドルフ

去る二十七日假政府首領は伯國内閣に勞働省を新設する法令に署名し初代勞働者大臣にリンドルフ。コロール氏を任命した同省は勞工商の事務も掌握する事になつて居る

來年度教育豫算會

去る一日新設文部省では各局課長寄合ひ來る一九三一年度の教育豫算協議會を初めて開き緊急に各局課の豫算を提出する事に決した

ジエツーリオ首領は再契約せず

北米海軍教官團と

伯國海軍教育所では一九二〇年以來北米海軍教官團を聘し伯國海軍の教導をゆだねて居たるもジエツーリオ新首領の方針は來年より此指導契約はやらぬ事にしたので北米海軍教官團は來年四日北米さして引上げる事になつた

ノロ線やパ線方面の邦人が病苦貧境の際最もお厄介になるサンタカーザへの寄附金募集

バルルの市

現下バウル市サンタカーザ病院へ施療で入院させてもらつて居る日本人は拾名ある

彼等はバウル附近の日本人でなく重にノロ線ブロミツソン驛やグワキサラ驛、グワランタン驛方面よりの人々や、バウリスタ延長線より態々バウル市サンタカーザ病院に出かけて來る人々である奥地のサンタカーザでは所謂施療の入院をゆるさぬのでバウル市のサンタ、カーザ病院まで出かけて來る貧苦と病苦に惱む人々である

是等の遙々と押かける貧病苦の日本人に貢め寄せられて入院手續きに何時も泣かされるのが齋藤ドットルであり、澤尾、沖山の兩旅館主等である

「ア……苦るしい、たすけてください。御恩にきます」――彼等は大低不景氣揃ひのスカンピだ

同胞の事ではあり　現在病苦にオウ惱し呻吟して居る処を觀、又掌を合せて頼まれては、何ふにかならうとサンタカーザ施療入院料五十ミルレースを自腹きつて出してやり、入院させてやる、斯うした事は近頃毎週二人や三人は屹度あるが、さて治癒なつて退院の際は何等挨拶もせず顔をかくしコソ〳〵と行衛不明になつてしまふ人々が九分通りだそうな

斯うした薄情氣分は近頃殊に甚だしい――なんて德道家めいた事を云つたつて何時も近頃で駄目。

現下の不景氣は伯人市民一般誰れもサンタカーザなどの貧乏世帶をかまつて居られぬ――と云つて日本人のヒン的は病軀を抱いて「何うか入れて下さい」と押し寄せる。バウル市サンタカーザには日本人が何時も厄介かけ通しだ。

今度沖山、古賀、澤尾、芳賀の諸君が發起してバウル市サンタカーザ日本人寄附金を募集し其全部を同病院へ寄進する事にした、寄附金は重にバウル市近郊邦人から募集するんだが寄篤の方は幾分でも此の擧にお寄進下さいと云ふ意嚮である

出產屆は四ケ月遲れても罰金なし出來る

聯邦司法大臣は、出產屆は誕生後四ケ月遲れても罰金なしにやれる法令の補足ケ條を追加發布した、十二月一日より

プロミソンに大雹降る

去二十日北西線プロミソン驛附近一帶に鷄卵大の大雹が降り屋根瓦をたゝき割られたり窓硝子をメチャ〳〵にされた処もある、パストスでは馬も牛もたゝき殺されて呻めいて居たとか

バウル市役場の負債額四千コントス

前々市長マシエル氏より前市長ドットル。ローレナ氏に到るバウル市會計帳簿檢査の結果革命檢査委員はバウル市負債は四千コントスありと發表した

デモクラット一派の秘密協議

聖州デモクラット一派のドットル、バウロ、モラエス、ペーロス氏、バリー、ジュニオール氏、バウロ、ノゲーラ、フキーリオの三氏はリオ、クラロ市郊外のドットル、ニネウ、デ、バウラ、マシャード氏の耕地にて長時間にわたり秘密協議をなしたと

バウル市長任命

去る十一月二十九日州法令により現バウル假市長コロネル、アントニオ。ロドリゲス。フラガ氏はバウル市長に、任命された

――エロ……百二拾ボルセント

ビリダキ驛ニボランヂヤ町に起つたエロ流行時代にありそうな教師と教へ子のエロナンセンス――同地在住某氏の娘清子（十四假名）は毎日夜學のため同地小學校教師工藤某（假名）の所に通學してゐるうち二人はしつかりネンゴロになり遂に夜ナベの結昌まで出かしてしまつた事件が表面に現れ苦境にある工藤某は四、五日前日本歸りとシャレたので人が中に入り情子と結婚さしてしまつたが工藤は一人で日本へ歸るとか、小娘清子は朝晩フクレ來るお腹を眺め涙のかわく時がなく、近所の人々は非常に同情してゐると向人聞する処によると、清子の母親もなか〳〵のツバ物で有夫の身でありながら誰れ彼れの別なくつまみ食いをやる性理的調節をやつて居るさうで親子競ふての性の奉仕振りはまさにエロ百二十ボルセントだ

矢崎畫伯の展覽會

來る十日より四日間聖市ホテル、エスプラナに於て中島總領事後援のもとに矢崎千代二畫伯作品の展覽會が開かれる、主なる作品題名を示せば

▲日本、香港、サイゴン、レングガポール、コロンボ、ケープタン、ダーヘン、日本汽船▲リオ　デ　ジヤネーロ、サントス、サンパウロ、サンパウロ郊外、サントアマロ、カンピーナス、咖琲、咖琲收獲、ビクトリヤ、ビクトリア、灣、マセイオ、ペルナンブーコ、ナタール、マラニヨオン、フオルタレザ、ベレーン、カスタニヤル、モンテアレグレ、ポアビイスタ、オビドス、クルバ▲以下アマゾナス州、バリンチンス、イタコアチアラ、マウエス、マナオス、デザベルタード、トポラール▲モンデビデオ、ブエノス、アイレス▲骨ゾウ、其の外ミストリヤザキの花などあり

微笑苦笑

▲出る杭は叩かれるといふがリンス日本人會長たること創立以來引續き三回重任し、然も尙ほ萬年會長たるを自認して居つた澁谷定次郎君も、餘り頑固に出た故か、叩き込まれずにとうと叩き倒されることになつた

▲澁谷君は既に以前から今年十一月には、自分は日本人會長を辞任する積りだと云ふては居つたが、その自發的辞任でなく、彈劾的辞任であつたことは彼に有終の美をなさしめんと期待した意味に於て最も遺憾であつたしかも時は恰も十一月、讖言正に適中せしだけ、それだけ……

▲澁谷御大の辞任に對し悲憤慷慨切齒扼腕、杵の如き無念の涙を流した人に別府友太郎君がある、三代相恩ある澁谷御大の一大事出來とばかり、忠臣別府友太郎伊藤氏は我家の騒動も顧ずに腹心者の保科松五郎君と會員を切崩し、味方に引入れんとて連判狀を持ち廻り日も之れ足らず暗中飛躍の大奮鬪ぶり、流石に講談式の忠義者は講談式にやつてるわい、しかし其結果が御大澁谷君の爲に如何なる影響を及ぼし來るかはよも御存じあるまいな。

▲工事の請負に裏と表とあり、設計書を作るに裏と表とあり補助金の使途に裏と表とあり登記をするに裏と表とあり、裏と表を裏、表、何にも彼も裏と表で出來た事は善い事か知らん惡いことか知らん、後學の爲めにいつ研究せずんばあるべからず

▲今度の騒動で日本人會を脫會すると申出た人々が約二十名、しかも總會では異議なし〳〵で通し委員を選擧し、なほし四人も十中八九あり、更に進んでは臨時總會召集請求の發頭人もあり、それを今更脫會とは閑ぬ牛せぬ牛兵衛樣と憤慨する人があるとすればそれこそ野暮天と笑はれる見たまへ保証の關係貸借の關係、商賣の關係等之れ又十中八九は金につながる金銷人情一掬の涙なきを得んじやないか

バウル領事館の中野老書記生歸朝ときまる

去る拾月初旬に聖國外務省に歸朝願請願中であつた在バウル帝國領事館の中野老書記生は愈歸朝許可の通知に接したので多分來年二月末迄には當地引拂ふ事になるらうと、同氏は歸朝前の御別れの挨へと約一週間前よりノロエステ線ルサンピラ驛アリアンサ移住地方面を歩き昨夜歸宅後任は日本より入江六郎書記生來る由

廣告

廣告

本籍　茨城縣行方郡延方村乙九三五番地
（ハワイ丸　便昭和五年四月渡航）
家長　篠塚　林兵衛（レンベエ）
（家族人員七名）

高知縣高岡郡高岡町一一四一番地
（右仝航者）
家長　石元　正勝（イシモト　マサカツ）
（家族人員三名）

熊本縣飽託郡清水村大字打越四〇九番地
（博多丸　便昭和五年六月渡伯）
家長　佐藤　武臣（サトウ　タケトミ）
（家族人員八名）

右三家族はバウリスタ線アンデス驛サンタクルース耕地へ配耕されたる者に候處　其の何れも同地に多額の負債を殘し逃亡なしたる者に候間同人等の所在地御承知の御方は何卒弊社宛御通知被成下度願上候

一九三〇年十月十七日

海外興業株式會伯國支店
Caixa Postal 3015 São Paulo

バウルー市
サンタカーザ寄附金及芳名

一、金二百ミルレース也　濱口光雄殿
仝　領事
仝　聖州新報社殿
仝　瀬木商店殿
一、金壹百ミルレース也　中野了義殿
仝　原口七郎殿
一、金五十ミルレース也　澤尾ホテル殿
仝　沖山ホテル殿
仝　古賀政治殿
仝　芳賀仁吉殿
仝　安戸敏行殿
仝　溝神金助殿
仝　丸野藤市殿
一、金五ミルレース也　小松榮次殿
仝　丸山福美殿
仝　大城榮松殿
一、金三十ミルレース也　須崎兼房殿
仝　山崎正衛殿
一、金十ミルレース　山崎正衛殿
一、金貳拾ミルレース也（ベンナ）　丸石鐵工所殿
一、金五ミルレース也　村上ヨネナミ殿
仝　尾崎仲工門殿
仝　豊田清藏殿
一、金拾ミルレース也　上原吉勝殿
仝　宮坂耕三郎殿
仝　金城平藏殿
仝　管野榮利殿
小計一。二八〇ミルレース也

坂東伏客陣

(11)

研ぎ磨いた冬の月が、夜の空を紺色に澄ま切つてその眞ッたゞ中から晃々と身を縮ませるやうな冷光を投げてゐる。

大御堂を出て來た落窪の權六は、藤岡の宿で、熱を二三杯呷つて來たので、ピーッといふ田圃の風をさほどに寒いとも思はずに、鮎川の迫分まで譯もない氣持で歸つて來た。

——と、右側の森の中から、ど、どゝゝゝと凄まじい勢で飛んで來た一人の男が、目の無い樣に權六の肋骨へ打つかつた。

「氣を付けやがれッ——」

蹌け乍ら權六が叫んだ時にはもう、摺り拔けた男の影が、月を浴びて一散に、向の妙見堂の境內へ飛び込んで行つた。

「何んでゐ野郎だらう。」と呟やき乍ら、腰を拂つてゐると、まだ其所へ、バラ〳〵と飛んで來た御用の提灯が、一ツ二ツと數を增して、此方へ差して押して來た。

それと摺れ違つた時、一人の武士が、權六を見かけてふいと足を止めた。

「おう。其処へ參つたのは落窪權六ではないか。」

見ると顏見知りの坂田三五郎といふ郡代付の役人であつた。權六も眼をみはつて小腰を屈め乍ら、

「御苦勞樣でござゐます。」と挨拶した。

「時に、其方は今向ふから來た樣じやが、年頃三十がらみの男が一人逃げて行つたのと摺れ違はなかつたか。」と三五郎が訊ねたので、權六は直ぐ今の男を想ひ出して、見た通の樣子を話した。二の周りを取りまいてゐた補方の者は、

「その男だ！それに違ひない」

と聲を合せた。

「且那、一体どう云ふ野郎のお手當です。」

と權六が別れ際に訊くと、三五郎はもう先を急ぐかして、早口に簡單な釈明をした。

其の言葉によると、今夜の捕物は、先頃うち暮坂峠で軍鷄籠を破つた者の片割れで、うまやが橋街道で一度御用の聲をかけたが、栗鼠の樣な身輕さで十手を通れ、彼方此方と追ひ廻して丁度今夜で三日になつた所、つい先刻、藤岡の宿で賊が腹ごしらを拵へてゐる所を、不意に打つて追ひ結めて來たのであると云つた。

半田行人

白い光線と黑い影とより他に色とてない冬の夜は、白骨のやうな枯れ木立に月さゑ凍りついて、大地は無音響の死界に近い程カーンとしてゐる。

すると、突如みり〳〵と生木の裂ける音があたりの靜寂を破つたかと思ふと、妙見堂の裏崖から、梢を力にしてヒラリと境內へ飛び降りた一人の男の影があつた。

——と男の足が、ドスンと地へ着くかつかない間髮に、罠が彈けたやうに、

「御用だッ」

と突き蒐つて行つた十手があるあッと不意を食つた聲がつぶされた途端に、彈み合つた二ツの體がゴロ〳〵と霜柱をくだいて二三間轉轉つた。

「何をッ。」と十手の鬥を揮りほどいて一人が立つと同時に、捻り拔いた脇差のつばも破れろと鍔手の臍天へ斬り飛ばして行つた。と、必死に受けた先の十手と双金とがシュッと火を磨つたせつなには、もう捕手の者は血糊を浴びて弓形に反つたまゝ仰向けに倒れた。

「あ、吃驚させやがつた……」

と男は血刀の雫をふつて、用心深い眼ざしで四邊を見廻したが、その頬骨を銳い月光が隈どつたのを見れば、まされもない針屋の半次であつた。

執念深い捕方の追擊を受けて半次は此の數日十分な食もとつてゐないので、一人を斬り伏せると暫く息喘れが熄まない樣子であつたが、續く捕手もないと見て、蹣跚くやうに御手洗の側へ寄つて行くと、

「御用ッ。御用ッ。」と數人の聲が一度にドッと湧き上つた。

「あッ——」と御手洗の氷を掴んで聲の方へ投げつけるより早く、半次は其処を引ッ返して行くと 捕手も隙かさず追ひかけて。御用ッ、御用ッと十手の雨を投げ降らした。

「くそッ。」と二三度、後の空を亂打ちにした半次は脫兎の勢で馳け出したが、ふと見ると行手にも庚申山の林からも、無數の提灯が點々と遠まきにして來たのに氣が付いて、咄嗟に妙見堂の床下へ姿をくらました。

併し捕手の方でも、半次が床下へ潛り込んだ姿を疾つくに見つけて了つたので、恐ち堂の四面を取りまいて罵り出した。けれど、彼が兇器を持つて居るのに怯んで、唯がや〳〵と騷ぎ廻るはかりだつた。

殊に長追ひをして來たので、刺又とか袖搦みといふやうな長柄の捕物道具を持つてゐないので、一寸と手を下す術がなかつた。一同は眞暗な縁の下を覗いて、徒に小石を投げたり、蠟燭の火を投げ込んだりして見たが、中では音もさせずに靜り返つてゐる。

「退け〳〵。」とその時、焦れ氣味に叱り飛ばして、床下へ顏を覗かせたのは、とり手頭の坂田三五郎であつた。

「これ千波の霧太郎一味の奴、もう何んとしても袋の鼠だ、神妙にお縄を受けて了へ！」

大聲にさう云つて暫く彼の答へを待つ樣に耳を澄してゐたが、依然としてゴソリとも動いてる氣配がなかつた。

「もうこれ迄だ。それッ、何を猶豫して居るのだイ。」と三五郎が激しく叱たつたので、とり手の中から血氣な四五人が十手を噛んで床下へ潜ひ込んだが、忽ちあッと、悲鳴を上げて朱になつて轉げて來た。

「駄目だ、畜生め、狽みたいな眼をしてゐやがつて、メチャ〳〵に血刀ばかり振り廻すんで寄つてもつかれない。」と、とり手は尻込みして唯一人進まうとしなかつたが、小才の利いたのが附近の農家から山狩りの鐵砲を二三挺蒐めて來て、妙見山の床下へ銃口を入れブス〳〵と火縄の臭ひをさせて脅した。

「さッ、出なければ撃つぞ、出なければ打ッ放すぞ！」

それでも中からは、何の反響もない……

「面倒くさいッ、うてッ、うて」

と三五郎が朱房を振つて喚くと同時に、床下の三方から覗き込んで居た銃先が火縄の火の粉を散らしてジリ〳〵と狙ひをつけた。その一瞬である。

誰であるかは分らないが、眞の力のこもつた鈴の音が、堂の內からりん〳〵と鳴つて來てゆるやかに答へた。

「默れッ、知れ切つたことを問ふのではない。其方の在所姓名を訊くのだ。」と三五郎は焦ッ立した態度で轍の竿を引ッ掴んで迫ると、行者の頬には却つて微かな笑がういた。

「あゝ名をお尋ねか……？」

「知れた事。それを糾すのだ」

「俺は……」と行者の眸が晃りと射て來た。

「なに……」

「千波の霧太郎だッ！」

と逃つた聲と同時に、腰から飛んだ白鞘の一刀がつゝと三五郎の眞ッ向を目にも止まらぬ早技で割りつけた。

行者はふと鈴の音を止めて、階段の途中から左右の人數を靜かに見廻した。

「半田行人でござりまする。」とゆるやかに答へた。

「默れッ、知れ切つたことを問ふのではない。其方の在所姓名を訊くのだ。」と三五郎は焦ッ立した態度で轍の竿を引ッ掴んで迫ると、行者の頬には却つて微かな笑がういた。

「あゝ名をお尋ねか……？」

「知れた事。それを糾すのだ」

「俺は……」と行者の眸が晃りと射て來た。

「なに……」

「千波の霧太郎だッ！」

と逃つた聲と同時に、腰から飛んだ白鞘の一刀がつゝと三五郎の眞ッ向を目にも止まらぬ早技で割りつけた。

行者は紅木棉の行衣に同じ色の手甲脚絆をつけ、手にも赤地の半田稻荷大明神と書いた轍を持つて、右手は絕ねずりん〳〵と鈴を鳴らしながら、怖づる色もなく階段を降りて來た。

「待てッ、何者だッ。」

と三五郎は鋭く答めて、左右の部下へも油斷をするなとめくばせした。

婦人の讀物

愛子の躾け方

醫師を恐る子供の習慣

子供がメディコを恐れるのは殆ど普通なことといへませう、これはメディコが子供に取つては全く見知らずの他人であることや、また友達等からメディコについて、屢々不幸な話を聞いてゐるからであります。例へば非常に痛い目にあつたことを、他の子供から聞かされるやうなことがありませう、これが深く印象づけられるのです。

賢い兩親は勿論メディコは非常にやさしい方であつて、自分のうちとは極めて懇意な間柄であるといふことを充分解るやうに說明して聞かせてやります。

ある注意深い親は子供に對して暗い場所に對する恐怖について前以て聞かせてゐましたが、殊に夜嵐吹き荒れる時などカーマにあつても、全く恐れないよう充分了解させて置く必要があります。

室內に玩具類や、その他のものを、一ヶ一定の場所におき、この後電燈を消し暗闇の中を子供をつれて、ゆるゆると一ヶ調べて廻らせます。何れも何等異狀なく電燈の下においた時と同じ場所にあることがわかつたら別に不思議な心も起らず暗闇は何等恐るべものでないと考へるやうになると思ひます。

ある子供が急に消防車を恐れだしたことがありましたが、ていふ時には、子供に對して充分消防車の任務を說明して聞かせます。消防夫にあつては一度び火災が起つたら、すぐ來て上さい、との知らせに接するや直に消防に急行せねばならぬ任務があるといつて聞かせます。

かくして子供は充分消防車の任務を知ることが出來るのであります。

また子供を消防派出所につれて行くのもよい試みだと思います、そして消防夫の方と語り合つて說明を聞いたりエンジンや馬等を見て、エンジン車が高鳴りして市街を走るのは決して恐れることではないのを、充分了解させるのがよろしい。かくすると子供は遂に全く消防車の爆音を恐れなくなるでせう。

つまり子供が恐れる場合にはその原因を充分究め合點の行くやうに說明して聞かすのが最も大切なことであります、父母は充分この點に意を用ふる必要がある譯です。

CLINICA DENTARIA
KAMEKITI YAMAMURA
Caixa 101 Rua Uruguaiana Pennagollo
伯國免許歯科醫
山村醫院
ペンナンボリ市ルアウルガンタ街

HOTEL USHIO
潮ホテル
大阪商船會社指定乘船切符取次所
三共商會
前田吉太郎
ランゼルベスターナ街 郵函 三二八
サントス市 電話 一九二四

削節發賣元
美味しくて安價なる
徳用麵類は……
日本製麵所
城間經營
リンス 郵函 二〇三番

廣告
今般呼寄移民ニタイシテモ普通家族移民同樣渡航費補助ヲ受ラル、コト、相成候間御希望ノ方ハ從來通リ正規ノ手續ニ及ハレ度候
昭和五年十一月十九日
海外興業株式會社伯國支店
Caixa Postal 3015 São Paulo

給二月十日ヨリ
年末大賣出し
CASA VERMELHA
粗景星上
雜谷商店
取扱ヘテアリマス
五割一日マデ
滿中日記 滿田日記

THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.
RUA DA CANDELARIA, 23
CAIXA, 380
RIO DE JANEIRO
横濱正金銀行
リオ、デ、ジャネイロ支店

鄉里送金
一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候。
二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて鄉里の受取人へ御送り申上候。
三、金子はコンバロル郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ橫濱正金銀行勸定として Banco Commercial do Estado de S. Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de S. Paulo へ御拂込被下ても差支無之候。
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下度候。
預金
伯貨定期預金利息六ヶ月以上年四分五厘
伯貨定期預金（六ヶ月以上壹ヶ年以上）年五分
伯貨當座預金（小口）年四分
▲預送金用紙は御請求次第直ちに御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御送附可申上候。
御申込の際は最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に御座候

CASA TOZAN
MIZUCAMI & CIA,
COMMISSARIOS
Rua Cidade de Toledo, 25 —— Caixa Postal, 911
Endereço Telegraphico "TOZAN" — Telephone, 2837
— SANTOS —
サントス市
珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミツカミ・イ・コムパニア
郵函 九一一号
電話 セントラル二八三七号
電信略号「TOZAN」
弊店取引方法は御照會次第御回報申上候

T. Takara
齒科醫 寶臣衛
北西線アラチューバ驛【大原商店ト郵便局ノ中間】
CIRURGIÃO DENTISTA ARAÇATUBA

1931
新年の準備は先づ日記から！
記入欄は寫眞應用美術印刷にて鮮明此上なし
當用日記 大 一二、〇〇〇
仝 中 九、〇〇〇
仝 小 七、五〇〇
昭和六年
博文館日記
懷中日記 上 四、〇〇〇
並 三、五〇〇
「各冊送料共」
瀨木商店
Segui & Cª
Caixa Postal, 1771—São Paulo